



76200-XNCD-K0S0 CIVIC HYDROPHILIC LED MIRROR

取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。
以下の注意点を正しくご理解の上、お取付け下さいますようお願い申し上げます。
取付け後は本書を必ずお客様にお渡しいただき、製品の説明及び取扱い上の注意点をお客様にご説明いただきますようお願い致します。

ご注意

1. 開梱後は、ただちに梱包内容（P 2 構成部品表を参照）の不足や破損のないことを確認して下さい。
2. 取り付け前に取り付け車両の型式の確認を行って下さい。

【適合車種】	CIVIC SEDAN	DBA-FC1
	CIVIC HATCHBACK	DBA-FK7
	CIVIC TYPE R	DBA-FK8
	INSIGHT LX	6AA-ZE4

3. 本製品の取付けは、必ずホンダディーラーもしくは自動車整備工場にて行って下さい。
※本書の作業内容は、自動車整備士及び整備について知識を持った方を対象としています。経験の無い方のみでの組付け作業は怪我や事故または走行中の車両トラブル等をまねく恐れがあり、大変危険です。また、保証の対象外になりますので絶対に行わないで下さい。
4. ヒーテッドドアミラー非装備車は本製品のヒーテッド機能が使用できません。
5. 本製品の方向指示器連動鏡面部LEDは保安基準上「補助方向指示器」とみなされます。補助方向指示器は左右一対しか装着できませんのでご注意下さい。
6. 本製品は電子機器を含むガラス製品です。取扱いには十分注意し作業を行って下さい。
7. 純正パーツの取付け・取外しはサービスマニュアルに従い作業を行って下さい。
8. 取付作業を始める前に、P 2の「作業上の注意事項」を必ずお読み下さい。
9. 本製品の分解や加工、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんのでご了承下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11
株式会社 M-TEC 商品事業部 商品業務課
【営業時間10:00~17:00(土日・祝日・弊社指定定休日を除く)】
TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121

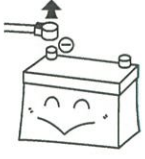



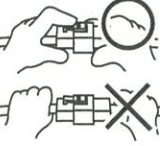
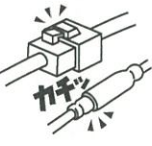
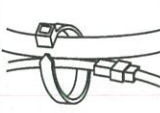


お客様へ

1. 本製品は純正ミラーと比較して、視界の範囲および距離感が異なります。
2. 本製品の鏡面部LEDは、方向指示器と連動して点灯および消灯します。
3. 晴天時の昼間や室内光の明るいところでは鏡面部のLED発光が弱く感じますが不具合ではありません。
4. 夜間などの暗闇時に鏡面部のLED発光により点灯部付近に映る後方視界が見え難くなります。
5. 本製品は鏡面部に太陽光(紫外線)を受けることにより親水効果を発揮します。購入時や室内での長期保管時では親水効果が弱まる場合がありますが、太陽光を当てることにより親水効果が回復します。
6. ミラーが汚れた時は中性洗剤を十分に含ませたスポンジまたは綿布を軽く押付け汚れを落とし、その後水洗いをして、きれいな綿布で軽く拭取って下さい。(高压洗浄機は用いないで下さい。)
7. ワックスやガラスクリーナー等の付着により親水効果が低下する場合があります。その際は、上記の洗浄を行い、数日間太陽光に当てて下さい。親水効果が回復しないときは繰り返し行って下さい。
8. 自動洗車機にて洗車の際は必ずミラーを格納して下さい。
9. アルカリ性洗剤、ガソリン、ベンゼン、シンナなどの有機溶剤でのお手入れはお止め下さい。
10. 事故や接触などによりミラーが割れたりヒビが入ってしまった場合はすぐにご利用をお止め下さい。そのまま使用すると大変危険です。
11. 本製品の故障および修理の際は必ずホンダディーラーまたは自動車整備工場にて行って下さい。

⚠ 作業上のご注意

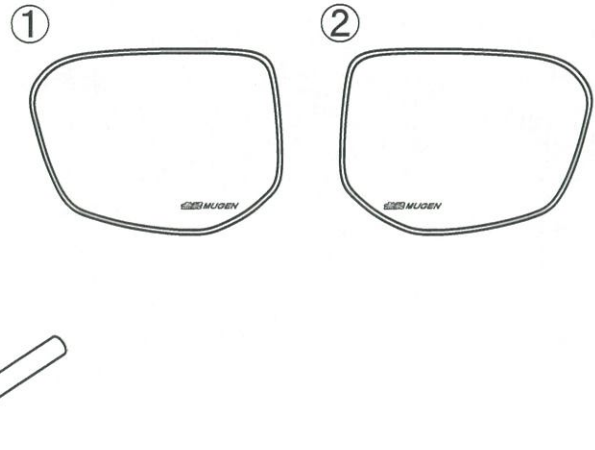
取付け作業を安全かつ確実にを行う為、必ずこの注意事項はお守り下さい。

1. 作業を始める前に注意事項を良くお読みになり、充分理解した上で正しい取り付けを行って下さい。
2. 本書の記載事項を守らなかった為に発生した不具合は、保証の対象外となります。

 <p>ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外して下さい。</p>	 <p>取付作業を行う際はハーネスの引っ掛け、かみ込みに注意して下さい。</p>	 <p>取付穴を開ける場合は必ず裏側に何も無いことを確認して下さい。</p>
 <p>車両ハーネスは強く引っ張らないで下さい。コネクタ外れや断線の原因になります。</p>	 <p>コネクタは、リード線を引っ張らず、コネクタ本体を持ってロックを外して下さい。</p>	 <p>コネクタやターミナル端子は確実に接続して下さい。</p>
 <p>ハーネスやリード線は、ブラブラしないように車両ハーネス等にまとめ、タイラップで固定して下さい。</p>	 <p>バッテリーの⊖端子を接続する前に、もう一度取り付けや配線に誤りがないか確認して下さい。</p>	 <p>キットの作動確認を行うと共に、車両のランプ、ワイパー等の車両電装品が正常に作動するか確認して下さい。</p>

【構成部品表】

No.	PARTS NAME.	QTY.
①	ハイドロフィリックLEDミラー L	1
②	ハイドロフィリックLEDミラー R	1
③	LEDハーネス	2
④	収縮チューブ	4



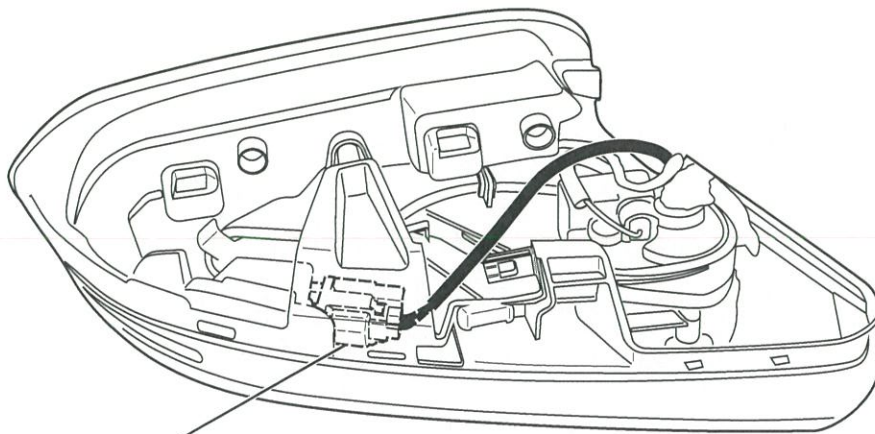
【必要工具】

- ・ 10mm メガネレンチ・ビニールテープ・クリップリムーバー・マイナスドライバー
- ・ カッター・ヒートガン

I. ハイドロフィリックLEDミラーの取付け

- 《注意》・ハイドロフィリックLEDミラーおよび車体に傷を付けないよう作業を行うこと。
- ・冬季の室外や気温の低い(10°C以下) 所では作業を行わないこと。
(気温が低いとプラスチックが固くなり割れる場合があります。)
 - ・ミラーホルダの無理な脱着はガラスの破損の可能性があるため、サービスマニュアルに従い注意して作業を行うこと。

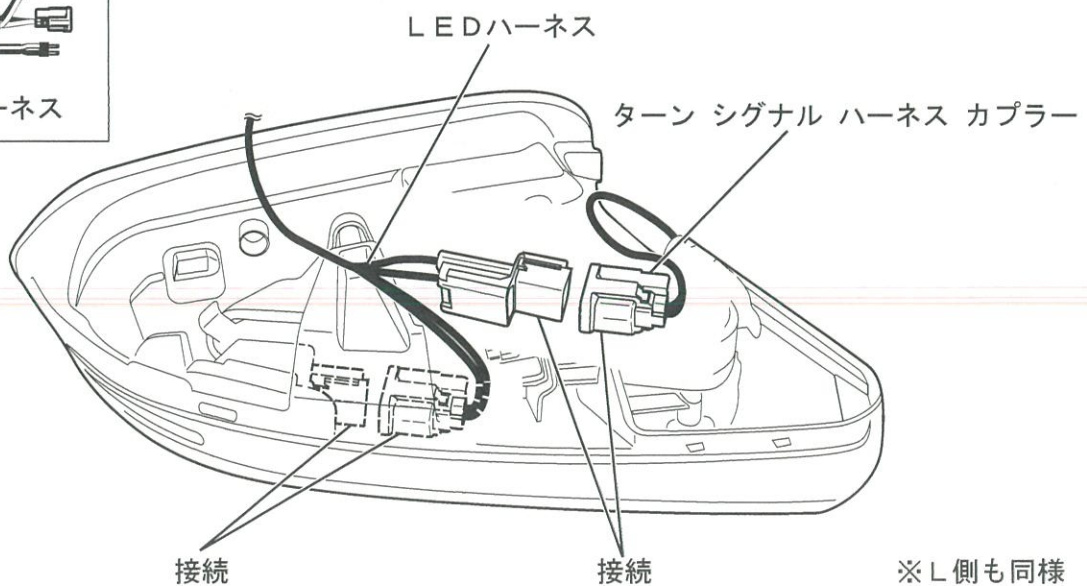
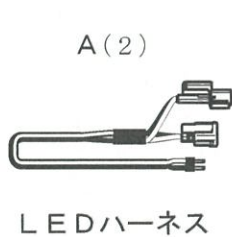
- ① バッテリーのマイナス端子を外し、3分以上放置する。
- ② 車両からミラーホルダおよびミラーハウジングカバーを取り外す。
(サービスマニュアル参照)
ヒートドドアミラー装備車はミラーホルダから端子の接続を外す。
- ③ 車両ターンシグナルハーネスカプラーの接続を外す。



ターンシグナルハーネスカプラー

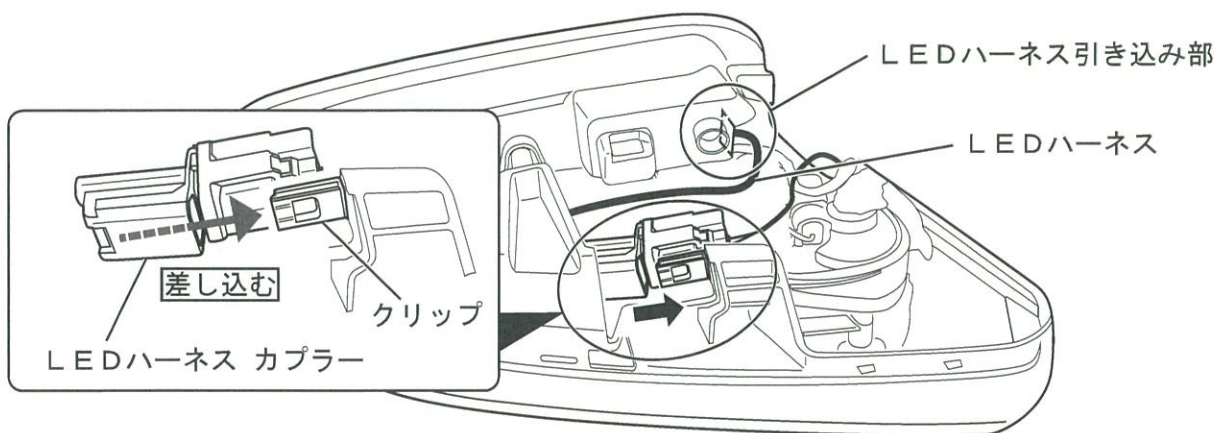
※L側も同様

- ④ ③で外したカプラー間に、下図のようにLEDハーネス(A)を接続する。



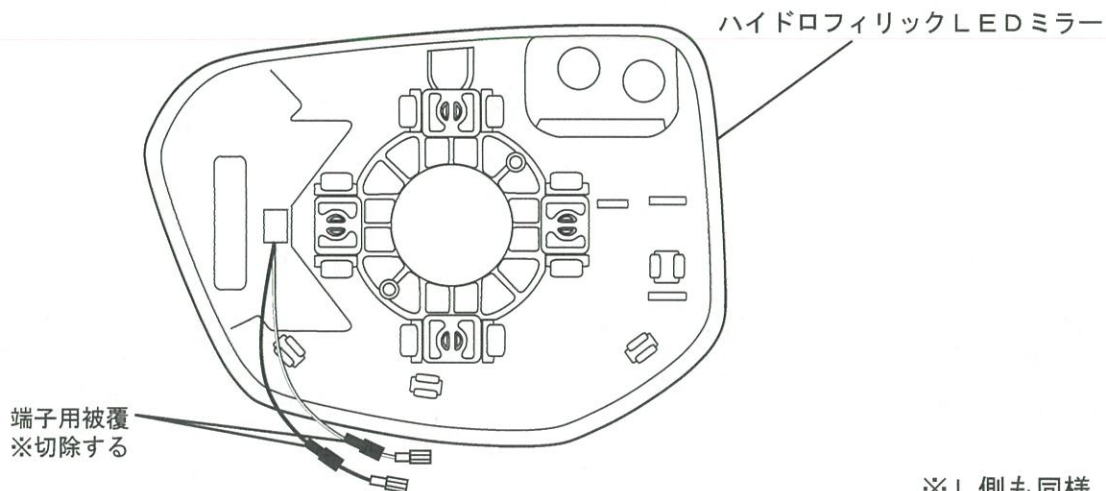
※L側も同様

- ⑤ LEDハーネス カプラーを純正ミラーの下図クリップに差し込んで固定し、LEDハーネスを下図の部分からドアミラー表側に引き込む。



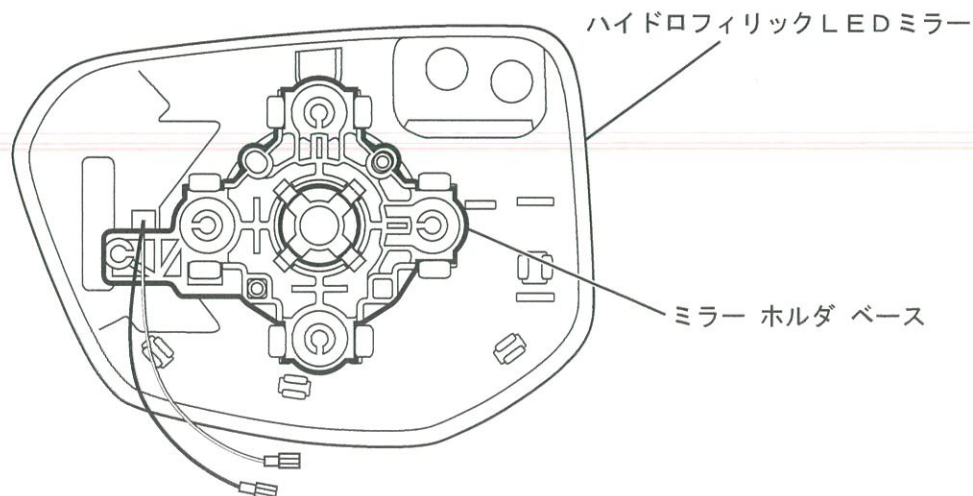
※L側も同様

- ⑥ ハイドロフィリックLEDミラー裏面の端子用被覆をカッター等で切除する。



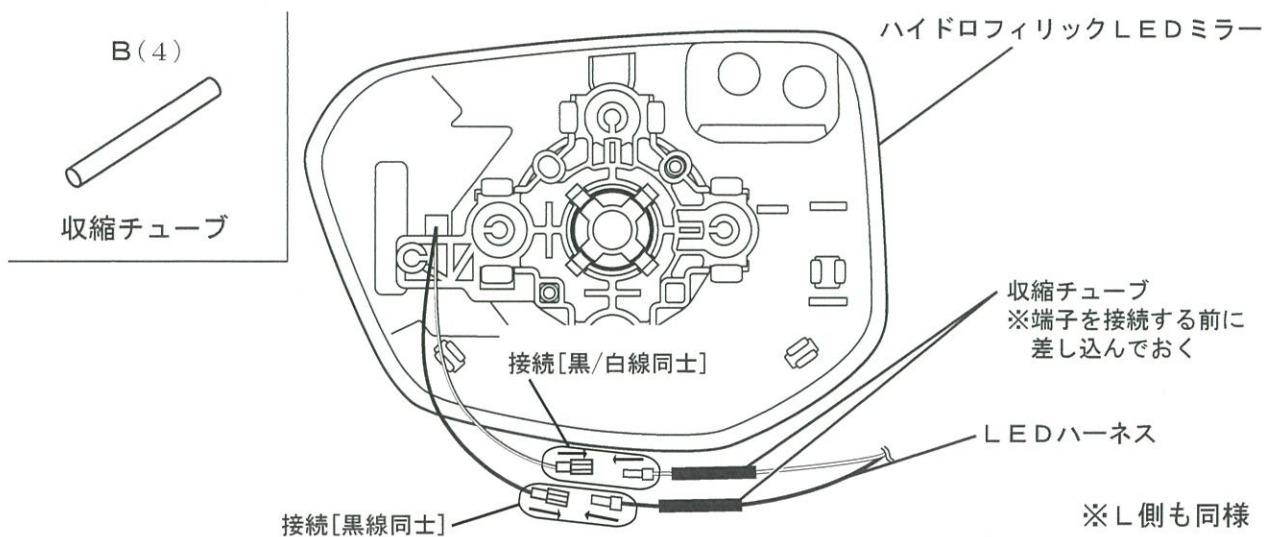
※L側も同様

- ⑦ 純正ミラー ホルダよりミラー ホルダ ベースを取り外し、ハイドロフィリックLEDミラーに取り付ける。

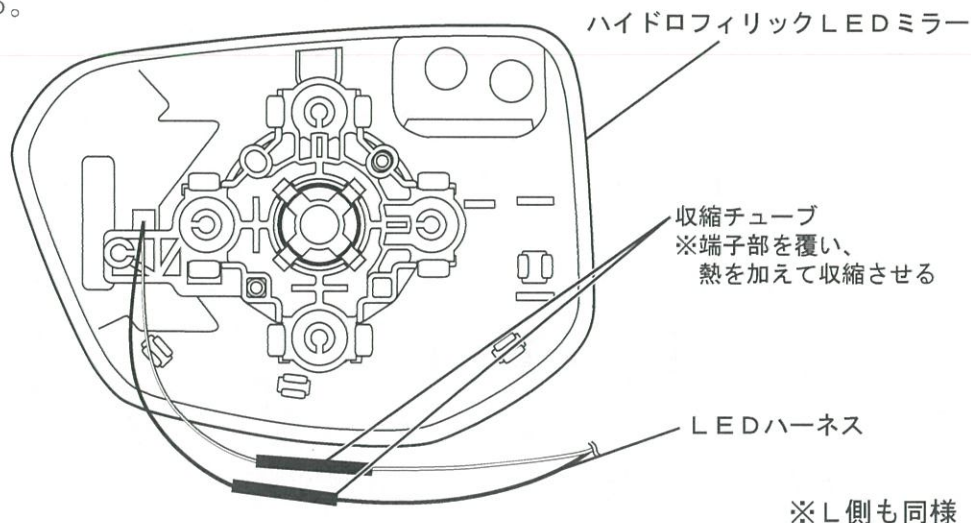


※L側も同様

- ⑧ 収縮チューブ (B) をあらかじめ⑤で引き込んだLEDハーネスに差し込んでおき、LEDハーネスとハイドロフィリックLEDミラー裏面の端子を同色線 (黒/白線、黒線) 同士で接続 (「カチッ」と音が鳴るまで差し込む) する。

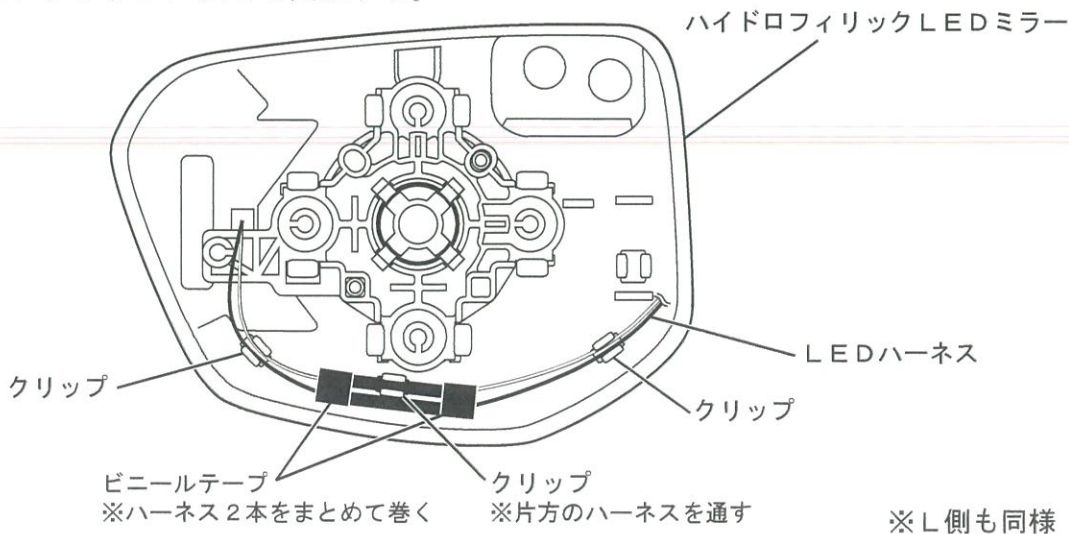


- ⑨ 端子部が収縮チューブの中央付近に来るよう収縮チューブを被せ、ヒートガン等で熱を加えて収縮させる。



注意 収縮チューブ末端がはみ出たシーリング剤で覆われていることを確認すること。

- ⑩ 収縮チューブの端部にビニールテープを巻き2本のハーネスをまとめ、LEDハーネスを下図のようにクリップに通して固定する。



- ⑪ ハイドロフィリックLEDミラーを純正ミラーホルダと同様に取り付ける。
(サービスマニュアル参照)
このとき、アクチュエータロッド、アクチュエータブーツは純正ミラーのものを使用する。
また、ヒートドドアミラー装備車はハイドロフィリックLEDミラーに端子を接続する。

- ⑫ バッテリーのマイナス端子を接続し、以下の動作確認を行う。

LED点灯確認

1. イグニッションOFFでハザードスイッチを押してハイドロフィリックLEDミラーの点灯がウインカーと連動していることを確認する。
2. イグニッションONでハザードスイッチを押してハイドロフィリックLEDミラーの点灯がウインカーと連動していることを確認する。
3. イグニッションONでウインカースイッチを作動させて、左右ともにウインカーと連動していることを確認する。

ミラー角度調整/格納確認

運転席手元のミラー角度調整および格納リモコンを稼働させ、機能が正常に作動しており、干渉等していないか確認をする。

ヒートドドアミラー機能確認

ヒートドドアミラー機能装備車両はヒートド機能を作動させ、正常に作動していることを確認する。

- ⑬ ミラーハウジングカバーを取り付け、各部品の取り付け状態が完全か確認する。
(サービスマニュアル参照)
※各種ハーネスの挟み込みに注意すること。